

地域密着型金融推進計画2009

(平成21～22年度の進捗状況)





目次

▶ 経営理念	1
▶ 経営基本方針	1
地域密着型金融の推進について	
▶ 基本的な取組み方針	2
▶ 地域密着型金融推進計画の具体的な取組み	3
地域密着型金融推進計画（平成21～22年度の進捗状況）	
▶ ライフサイクルに応じた取引先企業の支援の一層の強化	4～5
▶ 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した 資金供給手法の徹底	6
▶ 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献	7～8

地域とともに歩む
コミュニティーバンクであるために・・・

経営理念・経営基本方針

経営理念

地域社会繁栄への奉仕
地元中小企業の健全な発展のサポート
豊かな家庭生活実現へのお手伝い

当金庫は、相互扶助の精神のもとに協同組織金融機関としての社会的役割を全うすべく業務に邁進してきた結果、地域社会の発展に貢献するとともに、信用というかけがえない財産を築くことができたものと信じています。

長期的に発展していくためには、信用金庫経営の原点に立ち返って、会員の皆様からの支持と信頼関係を確立し、地域社会との共存共栄を図る必要があると考えています。

当金庫は、地域に密着した金融機関として、当金庫が築いてきた情報、企画力を基に、真にお客様の立場に立った「お客様本位」のサービスを提供し、より高い顧客満足度の実現を目指しています。

経営基本方針

地域金融機関としての使命を認識して、
地域性と公共性に立脚し、自己責任原則を
踏まえた健全な経営の展開

自己資本の充実、各種リスク管理の徹底及び経営全般に亘る効率化・合理化に努め、強固な経営体質を構築します。

地域社会への参画、地元中小企業への支援、地域社会への貢献を通じて豊かな地域社会づくりを目指します。

新時代を志向して柔軟な発想と豊かな人間性を備えた人材を開発育成することにより、高いモラルと誠意をもって、地域社会の要望に応えるために質の高い金融サービスの提供に努めます。



地域密着型金融の推進について

1. 基本的な取組み方針

当金庫は、「リレーションシップバンキングの機能強化に関するアクションプログラム」（平成15年度～16年度）、「地域密着型金融の機能強化の推進に関するアクションプログラム」（平成17年度～18年度）、「新地域密着型金融推進計画」（平成19年度～20年度）、「地域密着型金融推進計画2009」（平成21年度～22年度）として、地域密着型金融への取組みを推進してまいりました。

地域密着型金融の推進は、地域を基盤とする協同組織の地域金融機関として期待されている地域経済の活性化や中小企業の円滑化に資する取組みであると考え、金庫としても重要な取組み方針の一つとして位置づけております。

これからも計画的に重点項目を定め、積極的に取組むことで地域社会に期待され、信頼される金庫を目指してまいります。



地域密着型金融推進について

2. 地域密着型金融推進計画の具体的な取組み

1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援の一層の強化
取引先企業のライフサイクルに応じた経営全体のニーズに対して、各種手法・情報ネットワークの活用や人材育成を通して地域の金融円滑化を図ります。
2. 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底
不動産担保や個人保証に過度に依存しない融資への取組みと「目利き能力」向上への取組みによって多様化する中小企業の資金ニーズに対応いたします。
3. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献
地域全体の活性化と持続的な成長を視野に入れ、地元の情報の活用や外部機関との連携によるネットワークを活用することで、事業性貸出に留まらない多様な金融サービスの提供や持続可能な地域貢献活動を行い、地域での役割を積極的に果たしてまいります。

地域密着型金融推進計画（平成21～22年度の進捗状況）

1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援の一層の強化

項目分類	項 目	具体的取組内容と目標	進捗状況
(1) 創業・新事業支援	●創業・新事業支援に対するスキルアップ	①業種別等の勉強会を開催し、職員のスキルアップを図ります。〔目標：年3回〕	①職員のスキルアップを図るため、業種別等の勉強会を開催しました。 21年度：3回、22年度：3回
	●創業・新事業支援先の発掘と推進	②融資推進部を中心として、支援先の発掘と積極的な推進を図ります。 ③地域力連携拠点事業との連携により事業効果の向上を図ります。	②創業・新事業支援融資として 21年度：10先（47百万円） 22年度：11先（71百万円） の成果がありました。 ③「地域力連携拠点事業」及び「地域活性化のための地域貢献事業」への誘導や各種セミナー等を開催しました。
	●創業ニーズへのサポート機能発揮	④信用保証協会、創業支援制度の活用。	④創業支援制度の活用実績 21年度：1件（2百万円） 22年度：3件（8百万円）
	●若手経営者で構成される「しんきんニューリーダーズ・クラブ」への支援による若手経営者の育成	⑤「しんきんニューリーダーズ・クラブ」の事業計画に沿った活動を支援します。 ・事務局およびオブザーバ委員としての人的支援 ・ネットワーク力を駆使したビジネスマッチング等の機会創出	⑤事務局やオブザーバ委員としての人的支援や補助金による支援を行いました。 ※事務局1名、オブザーバ委員3名 ※補助金100万円／年間 ⑤「地域力連携拠点事業」及び「地域活性化のための地域貢献事業」において販路拡大・新商品開発について勉強会を実施しました。

地域密着型金融推進計画（平成21～22年度の進捗状況）

1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援の一層の強化

項目分類	項 目	具体的取組内容と目標	進捗状況
(2) 経営改善支援	●外部コンサルタント会社との提携により、中小企業診断士・経営支援課・営業店三位一体となった支援実施	①経営支援先を選定の上、中小企業診断士との連携による支援を行います。 ・支援先企業の研修会実施（目標：年10回） ・職員スキルアップのための研修会実施（目標：年4回）	①19社の支援を行い、ランクアップ1先の成果がありました。 ◇支援先企業の研修会の実施 21年度：10回、22年度：4回 ◇職員スキルアップ研修の実施 21年度：4回、22年度：4回 ◇支援先19先（内営業店支援先4先）
	●地域力連携拠点の活用 ※平成20年5月に「地域力連携拠点事業」の承認を受け支援活動を実施してきましたが、平成22年4月から「中小企業応援センター事業」に改編された事により、承継事業として金庫独自による「地域活性化のための地域貢献事業」を平成22年4月よりスタートさせることとなりました。	②地域力連携拠点相談事業への誘導（目標：延べ90件） ③地域力連携拠点専門家派遣事業への誘導（目標：延べ156件）	②相談事業への誘導 21年度：延べ146件、71事業所 22年度：延べ41件、21事業所 ③専門家派遣 21年度：延べ196件、57事業所 22年度：延べ92件、20事業所 ④勉強会・サークル活動支援（地域貢献事業） 22年度：18回
(3) 事業再生支援	●外部コンサルタント会社との提携により、中小企業診断士・経営支援課・営業店三位一体となった支援実施	①経営支援先を選定の上、中小企業診断士との連携により経営改善計画策定ならびに支援方策、取引方針を決定します。 ②返済条件緩和等の弾力的対応により資金繰りの円滑化を図っていきます。	①経営支援先19先を選定の上、支援方策や取引方針を決定して支援しました。 ②経営・財務面の特性を踏まえ、経営実態を総合的に勘案して資金繰りの支援に取組みました。
	●外部専門機関等（中小企業再生支援協議会等）との連携強化による再生スキームやノウハウ等の活用ならびに中小企業基盤整備機構等の外部機関の機能の活用	③福岡県中小企業再生支援協議会への案件持ち込みによる活用に取り組みます。 ④業界団体が実施している「企業再生支援講座」等へ積極的に参加します。	③福岡県中小企業再生支援協議会への案件持ち込みはありませんでした。 ④中小企業支援講座（北信協）を受講しました。 （21年度：2名、22年度：2名）

地域密着型金融推進計画（平成21～22年度の進捗状況）

2. 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底

項目分類	項目	具体的取組内容と目標	進捗状況
(1) 不動産担保・個人保証に過度に依存しない融資への取組み	●不動産担保・個人保証に過度に依存しない融資の推進	①スコアリングモデルを活用した無担保融資商品の推進を行います。	①債務者区分と格付及びSDBをマッチングさせた無担保融資商品「スイフト」を取扱いました。 21年度実績：12件（71百万円） 22年度実績：5件（32百万円）
	●多様化する取引先の資金ニーズに対する対応	②ABLの周知・取組みを強化します。 ③信用保証協会の流動資産担保融資、しんきんMEサポートローンの活用を推進します。	②③ABLへの取組みとして、動産担保・流動資産担保融資の推進を行い、次の実績がありました。 ◇信用保証協会流動資産担保 22年度：1件 ◇動産担保融資（昭和リース） 22年度：1件
(2) 「目利き機能」の発揮に向けた取組み	●「目利き能力」の向上に向けた職員のスキルアップ	①企業の定量情報や定性情報の分析力を高め、職員に経営改善指導や目利き能力向上のため業界団体が実施している「目利き融資企業アドバイス講座」等へ積極的に参加させます。 ②「中小企業診断士」資格奨励を引続き行います。 ③動産担保・流動資産担保融資、ABL等の活用を推進していきます。 ④目利き能力向上のための研修や融資判断能力向上のための研修を実施します。	①目利き融資・企業アドバイス講座（北信協）を受講しました。 （21年度：3名、22年度：4名） ①中小企業支援講座（北信協）を受講しました。 （21年度：2名、22年度：2名） ②事業計画において、当該資格取得を業績評価項目として設けています。 ③ABLへの取組みとして、動産担保・流動資産担保融資の推進を行い、信用保証協会流動資産担保1件、動産担保融資（昭和リース）1件の実績となりました。 ④「目利き融資・企業アドバイスについて」をテーマとして研修を実施し、目利き能力向上に取組みました。

地域密着型金融推進計画（平成21～22年度の進捗状況）

3. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

項目分類	項 目	具体的取組内容と目標	進捗状況
(1) 地域全体の活性化、持続的な成長を視野に入れた、同時的・一体的な「面的再生」への取組み	●地域社会活性化への支援	①公益信託おおかわしんきん地域振興基金を通して、地域産業の振興、社会福祉の向上などに寄与する団体への助成を行います。 ②地域活性化に向けた、公的機関との連携を図ります。	①公益信託おおかわしんきん地域振興基金より助成を行い、地域活性化に向けて支援しました。 21年度：23団体、総額577万円 22年度：14団体、総額575万円 ②経済産業省中小企業庁が主催する『地域産物販路拡大のための販売スペース設置事業』についての説明会を開催しました。（平成21年10月）
	●ビジネスマッチングを活用した支援	③ニューリーダーズクラブを中心として金庫のネットワークを活用したビジネスマッチングフェアへの参加等、販路開拓を支援します。	③平成23年11月のビジネスマッチング開催に向けて準備を進めています。
	●相談業務の充実と金融教育による地域社会づくり	④無料法律相談会を実施します。〔目標：年12回〕 ⑤多重債務者問題への取組みとして、研修会の実施や冊子の配布等による予防策を実施します。 ⑥振り込み詐欺等への対応として、金融犯罪についての注意喚起情報を提供します。 ⑦インターンシップの受入れによる実践的な職場体験の機会を提供します。	④無料法律相談会を毎月実施しました。 ⑤当金庫で実施している『フレッシュマンセミナー』において冊子の配布等による注意喚起を行いました。 （平成21年4月、平成22年4月） ⑥店頭・ATMコーナーにパンフレット等を備え置くことで金融犯罪への注意喚起情報の提供に努めました。 ⑦実践的な職場体験の機会を提供するため、インターンシップの受入れを行いました。 ・平成21年10月：7名 ・平成22年10月：8名
	●青少年の健全な育成への支援	⑧青少年の健全な育成を目的としたスポーツ大会等を開催します。	⑧青少年の健全な育成を目的としてスポーツ大会等を開催しました。 ・少年野球大会 （平成21年7月、平成22年7月） ・少年サッカー大会 （平成21年9月、平成22年9月）

地域密着型金融推進計画（平成21～22年度の進捗状況）

3. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

項目分類	項目	具体的取組内容と目標	進捗状況
(2) 地域活性化につながる多様なサービスの提供	●地域経済情報の発信	①「地場産業景況レポート」の定期的な発刊により地域経済情報を発信します。〔目標：年4回〕 ②地域力連携拠点が実施する情報提供事業への誘導を図ります。 ③上記拠点が実施する調査・研究事業の活用を図ります。 ※平成20年5月に「地域力連携拠点事業」の承認を受け支援活動を実施してきましたが、平成22年4月から「中小企業応援センター事業」に改編された事により、承継事業として金庫独自による「地域活性化のための地域貢献事業」を平成22年4月よりスタートさせることとなりました。	①「地場産業景況レポート」を四半期毎に発刊しました。 ②情報提供事業への誘導 実績：5セミナー開催 2テーマ10サークル活動開催 ③大川家具に関するアンケートを全国の信用金庫等の協力を得て実施し、調査結果について公表（平成21年12月）しました。
	●お客様の多様なニーズへの対応 ●情報の仲介による中小企業活性化への取組み	④お客様アンケートを実施し、商品・サービスの見直しを行い、満足度向上に向けて取組めます。 ⑤休日を利用した年金、住宅ローン等の相談会を実施します。 〔目標：年12回〕 ⑥業界ネットワークを活用した情報の提供とビジネスマッチング等の支援に取組めます。	④お客様アンケートを平成21年11月および平成22年11月に実施し、調査結果および今後の取組み等について公表しました。 ⑤毎月1回、日曜相談会を開催し、平成21年11月からは、酒見支店に加えてミヅマ支店でも開催しています。 （偶数月：酒見支店、奇数月：ミヅマ支店） ⑥九州北部信用金庫協会において、管内金庫の情報提供とビジネスマッチング等への支援に活用するため『情報リレーション制度』の取扱いを開始しました。 （平成21年7月）